



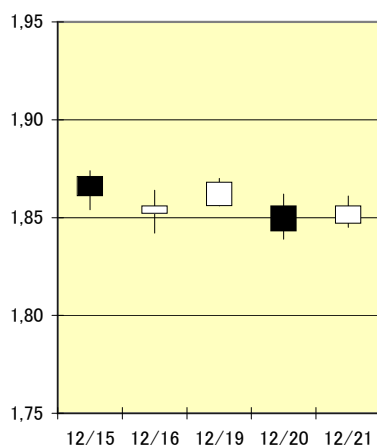
ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

1. Market Rate

			12月15日	12月16日	12月19日	12月20日	12月21日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,8610	1,8560	1,8680	1,8430	1,8560	+0,0130
	USD/YEN	Spot	77,91	77,83	77,99	77,89	78,09	+0,20
	EURO/USD	Spot	1,3019	1,3032	1,3004	1,3075	1,3048	-0,0027
	REAL/YEN	Spot	41,86	41,94	41,75	42,26	42,08	-0,19
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	2,71	2,69	2,82	2,87	2,88	+0,01
		1Year(p.a.)	2,94	2,91	3,07	3,05	2,98	-0,07
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,11	10,09	10,08	10,07	10,05	-0,02
		1Year(p.a.)	9,91	9,91	9,91	9,89	9,84	-0,05
Stock	Bovespa		56.331,15	56.096,93	55.298,33	56.864,85	56.653,37	-211,48
Bond	EMBI+(bp)		218,00	229,00	235,00	222,00	214,00	-8,00
	Global 40		133,100	132,900	132,600	132,900	132,850	-0,0500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



U\$/R\$(2010/1/4~2011/12/21)



2. 市況、トピックス (As of dez-21)

【インフレ指標の落ち着きから金利先安感が強まり、レアルは売られる展開】

本日の為替相場はU\$1=R\$1.8470にてオープン。寄り付き早々に実施された欧州中央銀行（ECB）による初の3年物資金入札で応札額が事前予想を上回ると直後はユーロ買いが殺到し、リスク選好からレアルにも買いが入り、本日のレアル高値となる1.8450をつけた。しかし買い一巡後にユーロが反落に転じたことに加えて、9:00に発表されたブラジルの12月CPIでインフレの落ち着きが示されると、中銀による来年度の更なる利下げを織り込む格好で1年物の金利先物金利が下落し、レアルも反転売りに転じた。レアルは1.85を突破後もじりじりと値を下げながら続落し、正午過ぎに本日のレアル安値となる1.8610を示現した。その後はホリデーシーズン入りを前に徐々に流動性が低下する中、1.85台後半で動意に乏しい展開が続き、結局U\$1=R\$1.8560にてクローズ。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもので、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。